

令和 6 年 5 月 29 日現在

機関番号：32683

研究種目：基盤研究(C)（一般）

研究期間：2020～2023

課題番号：20K02194

研究課題名（和文）過疎地域における若年貧困層の生活保障とコミュニティ形成の理論と実践方法の探究

研究課題名（英文）Exploration of the theory and practice for life security and community formation for the young poor in depopulated areas

研究代表者

金子 充（Kaneko, Ju）

明治学院大学・社会学部・教授

研究者番号：30366950

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 3,300,000円

研究成果の概要（和文）：課題先進地域である離島過疎地域において、貧困・孤立・不安定就労を経験する若年層の実態を理解したうえで、生活の安定とコミュニティ形成のためにいかなる政策プログラムと社会起業型コミュニティワークが必要であるかを考察した。若年貧困層が尊重されながら地域で生活でき、参加可能なコミュニティを構築・発見できるようになるため、社会起業型コミュニティワークによる地域再生が有効である。その前提として権利ベースによる生活保障が不可欠であり、欧米の条件付きベーシックインカム政策、臨時的な給付金プログラムの例を手がかりに、貧困・孤立対策と地域再生に先駆けて補足的であれ所得保障政策の拡充が不可欠であることを確認した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

離島過疎地域は、人口減少や産業の空洞化による貧困の拡大が著しい課題先進地域であり、将来の日本社会全体の縮図である。本研究では、貧困・孤立・不安定就労を経験する若年層の実態をふまえ、生活の安定とコミュニティ形成のための政策プログラムと取り組みの事例を検討した。ワークフェア/アクティベーションによる労働市場とコミュニティへの包摂モデルではなく、新たな分配的正義と参加型コミュニティ形成の理論にもとづいた生活保障プログラムおよび社会起業型コミュニティワークの意義を明らかにし、今後の日本の社会福祉の政策と支援に関わる議論の発展に貢献した。

研究成果の概要（英文）：Based on an understanding of the actual situation of young people experiencing poverty, isolation, and precarious employment in remote island depopulated areas, we examined what kind of policy programs and social entrepreneurial community work are needed to support their lives and communities. In order for the poor youth to be able to live in the community with respect and to build and discover a community in which they can participate, community revitalization through social entrepreneurial community work is effective. In addition, livelihood security based on rights is indispensable as a prerequisite for this. As a prerequisite for this, livelihood security based on rights is necessary. Therefore, we confirmed the importance of expanding social assistance programs and income security policies for regional development, taking a cue from the examples of conditional basic income policies and temporary benefit programs in Europe and the US.

研究分野：社会福祉学

キーワード：生活保障 コミュニティワーク 社会起業 地域再生 ベーシックインカム

1. 研究開始当初の背景

地域共生社会を構築する意義が示される中で、人口減少や産業の空洞化による貧困や孤立の拡大が著しい過疎地域では、その十分な対策の道筋を見出せない状況にある。消滅可能性都市（日本創生会議,2014）の議論にあるように、過疎地域にかぎらず日本中の多くの都市が近い将来に同様の状況に陥ることが懸念されており、課題先進地である過疎地域で深刻化する貧困・孤立等の問題に対してより普遍的なアプローチの視点を示し、かつその視点にもとづく政策的・実践的な方法を確立することが急務である。

本研究では当初、沖縄県の離島過疎地域に注目した。沖縄県の離島過疎地域には、観光産業と大規模土地開発が単純・非正規労働等のフレキシブルな労働市場を拡大させており、パターナリズムな家族規範によってジェンダー不平等と女性への抑圧がもたらされており、さらにグローバル化を背景とした米軍および本土からのコロナルな政治的抑圧・経済的搾取によって人々の分断と文化的不正義がもたらされている、という社会構造的に生み出された若年層の複雑な困窮状態があると考えられる。

こうした離島過疎地域において若年貧困層が抱える課題は、日本社会全体において、今後多くの若年層が抱えることになる課題である。なぜなら、まずグローバル化・サービス産業化の進展によって、非正規雇用が拡大し続ける中、学歴資本も持たない若年貧困層は非正規雇用に追いやられがちである。また若者が抱える貧困、孤立、無業、虐待、不健康、低教育、ひきこもり等については家族的背景の影響は大きい、ジェンダー不平等が根強い日本社会で、とりわけ女性は不利な立場に置かれる。女性の雇用は不安定になりがちであり、ケア責任も集中しがちである。そして都市への人口集中によって、都市部とその周辺の格差は全国的に拡大しており、文化的・経済的格差が生じ、政治的な分断の要因となっている。これは一国内の構造であるだけでなく、グローバルな政治的・経済的状況としてもとらえる必要がある。

2. 研究の目的

本研究では、複合的な背景によって貧困・孤立を強いられている過疎地域の若年貧困層が抱える生活課題に対して、その置かれた環境を社会構造的に分析するとともに、「権利」「自立」「ケア倫理」という現代の社会福祉を基礎づける諸原理の再検討を通して、若年貧困層の生活保障と地域での支え合いコミュニティを成り立たせる政策と実践の理論枠組みを探究することにした。また、理論をふまえた望ましい生活保障とコミュニティ形成を実現する地域福祉の政策・実践モデルを提示することをめざした。

過疎地域の課題は日本全体が抱える課題に直結しているとの問題意識の下で、過疎地域に広がる貧困層、とくに若年ワーキングプア（低所得の若者）および若年有子世帯が抱える貧困、孤立、無業、虐待、不健康、低教育、ひきこもり等の状況に対して、規範レベルの議論を十分にふまえたうえで、政策構想と実行可能なコミュニティワークの方法を提示することを目的とした。

3. 研究の方法

離島過疎地域で暮らす若年貧困層がいかなる生活保障を必要としているのかを先行研究をもとに理論的に考察した。そして、若年貧困層がどのようなコミュニティであれば生活・生存の支えとしてそれを受容し、参加を求めようとするのかを理論およびインタビューによって分析しようと試みた。最後に、これらの理論的・実証的な分析をふまえた新たな生活保障とコミュニティ形成を実現する地域福祉の政策・実践モデルを提示したいと考えた。その際に、生活困窮者自立支援制度等を含む具体的な政策構想と普遍化可能なコミュニティワークおよびソーシャルアクションの方法を提示することをめざした。

理論研究にもとづき、若年貧困層が尊重されながら地域で生活でき、参加可能なコミュニティを構築・発見できるようになるため、社会起業型コミュニティワークによる地域再生が不可欠であることを考察しようとした。またそのための地域福祉実践方法の確立をめざした。

研究方法としては、コミュニティワーク実践の視点として、とりわけ若年貧困層の「声」や必要を反映することを重視し、住民（当事者）参加型で進めるアクションリサーチ(CBPR)の手法を採用することにした。これは、研究活動自体を若年貧困層と関係を築くプロセスとするものである。調査者がコミュニティワーカーとして特定の地域に介入し、実践と研究の相互的展開により成果を蓄積し、理論的な考察の妥当性を確かめることができる。このアクションリサーチを通して、若年貧困層の必要把握をおこない、また多様な参加の場を企画・実施することで地域ケアのプログラム化と主体化を段階的に展開できると考えた。そしてこれらをもとに、地域福祉の実践方法論としてモデル化・理論化を図ることとした。

初年度より新型コロナウイルス感染症の拡大によって離島過疎地域の訪問調査は頓挫し、その後も沖縄県では特に県外からの流入者に対する警戒レベルが高く、アクションリサーチによ

るモデル構築については絶望的となった。アクションリサーチの代わりとして、沖縄県以外の地域において「グッド・プラクティス」として注目される実践を手がける諸団体や自治体をリサーチし、対面およびオンラインによるヒアリング調査と意見交換をおこなうという研究手法に切り替えた。

4. 研究成果

新型コロナウイルス感染症の拡大によってアクションリサーチによる調査研究が絶望的となったことを受けて、理論研究およびヒアリング調査を基礎にして実践モデルの意義を明らかにする研究にシフトさせた。

第一に、政策理論研究として、所得保障を中心とする生活保障に関連する思想および政策の展開について考察した。参照軸としてイギリスの貧困層の状況と政策展開を確認し、社会的投資論と資産ベース福祉による社会政策の動向と課題を考察した。これにより、投資や資産形成という考え方に基礎づけられた貧困対策を進めることによって、互酬もしくは権利(市民権)ベースよりも市場原理による政策効果への期待が高まることの危険性について考察することができた。これらの議論の成果は複数の論文としてまとめた。

第二に、ワークフェア/アクティベーションによる労働市場やコミュニティへの包摂が注目される中で、市場原理と生産主義(産業主義)に異議を唱える「批判的・交差的な社会政策研究」の議論を分析し、ベーシックインカムやベーシック・アセット/ケアといった分配論を含めて、分配的正義に関わる政策理論の可能性について考察した。また正義や権利ベースによる生活保障の仕組みとして、欧米の条件つきベーシックインカム、保証所得(Guaranteed Income)、臨時的な給付金制度に関するプログラムに注目し、孤立対策、地域再生、雇用創出に先駆けて、補足的であれ所得保障政策を拡充することの意義を確認した。これらは複数の研究論文として報告することができた。

第三に、アクションリサーチに替えて各地の「グッド・プラクティス」を展開する団体および自治体に対する対面およびオンラインによるヒアリング調査と意見交換から、若年貧困層が尊重されながら地域で生活でき、参加可能なコミュニティを構築・発見できるようになるため、社会起業型コミュニティワークによる地域再生が有効であることを考察した。その際に、市場経済に対置され、交換・再分配・互酬を生活者の視点からコントロールする社会的連帯経済(「人間の経済」)の意義を考察し、それらの到達点と実践モデルの有効性を確認した。加えて、働きづらさを抱えるひとたちの雇用、就労機会の創出を社会資源開発という観点で捉え、社会資源および開発の意味を再検討した上で、多様な意味での自立および就労を前提として地域再生に資する社会資源開発のあり方を考察した。これらについても、複数の研究論文および著書をまとめることができた。

さらに、研究期間を延長したことで最終年度に北海道利尻富士町を訪問し、ヒアリング調査と意見交換をおこなうことができた。これにより、地域住民の生活の安定のために自治体が独自に取り組んでいる季節的な手当制度、医療受診支援プログラム、公営住宅保障、季節的な労働者確保策の現状と意義を明らかにし、政策理論研究の結論でもあった権利ベースによる生活保障の意義を再確認することができた。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計33件（うち査読付論文 3件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 6件）

1. 著者名 関水徹平・金子充・川本健太郎	4. 巻 24
2. 論文標題 社会福祉政策における社会的投資論の批判的検討 人的資本活用と権利保障のせめぎ合いに着目して	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 立正大学社会福祉研究所年報	6. 最初と最後の頁 65-88
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 金子充	4. 巻 161
2. 論文標題 カリフォルニア州における保証所得(Guaranteed Income)プログラムの制度分析	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 明治学院大学社会学・社会福祉学研究	6. 最初と最後の頁 83-100
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 橋川健祐・川本健太郎	4. 巻 19(2)
2. 論文標題 農福連携とトイレ問題に関する二次データを用いた一考察	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 金城学院大学論集	6. 最初と最後の頁 未定
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 金子充	4. 巻 158
2. 論文標題 資産ベース福祉による貧困対策のパラドクス イギリス児童信託基金の検討から	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 明治学院大学社会学・社会福祉学研究	6. 最初と最後の頁 55-74
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 金子充	4. 巻 2021年6月号
2. 論文標題 グローバル時代の海外福祉事情Vol.1: イギリスの貧困と生活困窮者対策 貧困のリアリティーをとらえ、伝えることの困難	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 月刊福祉	6. 最初と最後の頁 90-93
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 金子充	4. 巻 2021年7月号
2. 論文標題 グローバル時代の海外福祉事情Vol.2: イギリスの貧困と生活困窮者対策 コロナ禍におけるセーフティネットの効果	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 月刊福祉	6. 最初と最後の頁 90-93
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 金子充	4. 巻 2021年8月号
2. 論文標題 グローバル時代の海外福祉事情Vol.3: 受給率9%の衝撃と問われる受給要件	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 月刊福祉	6. 最初と最後の頁 86-89
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 関水徹平	4. 巻 757
2. 論文標題 社会政策パラダイムの変化とひきこもり支援施策・当事者活動	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 大原社会問題研究所雑誌	6. 最初と最後の頁 1-13
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 川本健太郎	4. 巻 2022年1月号
2. 論文標題 協働でつくる新たな地域(第19回)奈良市社会福祉協議会「コミュニティスペースまんま」：緩やかなつながりを育む居場所から生まれる協働の広がり	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 月刊福祉	6. 最初と最後の頁 82-85
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 川本健太郎	4. 巻 2021年9月号
2. 論文標題 協働でつくる新たな地域(第15回)社会福祉法人新発田市社会福祉協議会：生前の家主の孤立解消が空き家化を防ぐ「孤立ZEROプロジェクト」	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 月刊福祉	6. 最初と最後の頁 82-85
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 川本健太郎	4. 巻 2021年4月号
2. 論文標題 協働でつくる新たな地域(第10回)社会福祉法人新潟県社会福祉協議会：モノづくりを通じた子育て支援事業とディーセントワークの創出に向けて	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 月刊福祉	6. 最初と最後の頁 86-89
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 柴田学	4. 巻 2021年11月号
2. 論文標題 協働でつくる新たな地域(第17回)Open Innovation Biotope “Cue”(株式会社オカムラ中部支社)『共創空間』によるプロトタイピングと協働事業の創出	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 月刊福祉	6. 最初と最後の頁 82-85
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 橋川健祐	4. 巻 2021年6月号
2. 論文標題 協働でつくる新たな地域(第12回)企業組合伊丹市雇用福祉事業団：民主的・自律的な経営で仕事づくりと地域再生に取り組む	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 月刊福祉	6. 最初と最後の頁 86-89
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 橋川健祐	4. 巻 2022年2月号
2. 論文標題 協働でつくる新たな地域(第20回)社会福祉法人すいせい：超短時間雇いで地元商店街の課題解決に取り組む	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 月刊福祉	6. 最初と最後の頁 82-85
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 竹内友章	4. 巻 2021年7月号
2. 論文標題 協働でつくる新たな地域(第11回) 「協同労働」から生まれる地域自治	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 月刊福祉	6. 最初と最後の頁 86-89
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 竹内友章	4. 巻 2022年4月号
2. 論文標題 協働でつくる新たな地域(第22回) 専門職の連携から地域の協働へ	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 月刊福祉	6. 最初と最後の頁 86-89
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 金子充	4. 巻 157
2. 論文標題 ベーシックインカムに組み込まれる福祉契約主義に関する考察 スチュアート・ホワイトの「市民的ミニマム」論から	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 明治学院大学社会学・社会福祉学研究	6. 最初と最後の頁 23-43
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 橋川健祐	4. 巻 17(2)
2. 論文標題 地域共生社会政策に対する批判的検討と今後の課題に関する予備的考察	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 金城学院大学論集・社会科学編	6. 最初と最後の頁 0
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 橋川健祐	4. 巻 12
2. 論文標題 過疎地域における就労継続支援A型事業所での就労が障害者の暮らしに与える影響： 過疎地域で働く障害者へのインタビュー調査を通して	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 中部社会福祉学研究	6. 最初と最後の頁 0
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 橋川健祐	4. 巻 2020年6月号
2. 論文標題 協働でつくる新たな地域(第2回)社会福祉法人よさのうみ福祉会リフレかやの里:一人ひとりを大切にするコレクティブで福祉の枠にとどまらない社会福祉法人の実践	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 月刊福祉	6. 最初と最後の頁 88-91
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 橋川健祐	4. 巻 2021年3月号
2. 論文標題 協働でつくる新たな地域(第9回)社会福祉法人白鳩会:本土最南端の過疎の町ですむ、農福連携による触 法障害者の受け入れ	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 月刊福祉	6. 最初と最後の頁 86-89
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 川本健太郎	4. 巻 2020年5月号
2. 論文標題 協働でつくる新たな地域(第1回)特定非営利活動法人暮らしづくりネットワーク北芝:出会い、学び合い、 協働することで生まれたサステナブルブランド	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 月刊福祉	6. 最初と最後の頁 92-95
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 川本健太郎	4. 巻 2021年4月号
2. 論文標題 協働でつくる新たな地域(第10回)社会福祉法人新潟県社会福祉協議会:モノづくりを通じた子育て支援事業 とディーセントワークの創出に向けて	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 月刊福祉	6. 最初と最後の頁 86-89
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 柴田学	4. 巻 2020年7月号
2. 論文標題 協働でつくる新たな地域(第3回)島根県益田市真砂地区:差異の結びつけから生まれる創発的な地域づくり	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 月刊福祉	6. 最初と最後の頁 84-87
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 柴田学	4. 巻 2021年1月号
2. 論文標題 協働でつくる新たな地域(第7回)特定非営利活動法人泉京・垂井:フェアトレードと地産地消の掛け合わせによる地域づくり	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 月刊福祉	6. 最初と最後の頁 86-89
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 直島克樹	4. 巻 2020年8月号
2. 論文標題 協働でつくる新たな地域(第4回)子どもソーシャルワークセンターつばさ:学生や地域を巻き込んだ夜の子ども居場所づくりから始まる地域づくり実践	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 月刊福祉	6. 最初と最後の頁 80-83
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 竹内友章	4. 巻 2020年12月号
2. 論文標題 協働でつくる新たな地域(第6回)特定非営利活動法人なごみ:地域のダイナミズムから"小さな関わり"を生み出し、束ねる実践	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 月刊福祉	6. 最初と最後の頁 86-89
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 柴田学	4. 巻 17(1)
2. 論文標題 労働統合を目的とした社会的連帯経済の地域展開に関する一考察 : 2つの就労継続支援事業A型調査報告を踏まえて	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 金城学院大学論集・社会科学編	6. 最初と最後の頁 65-81
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 柴田学	4. 巻 31
2. 論文標題 中山間地域での連帯経済の実践における地域資源の活用 - コミュニティワーク視点との比較検討を通じて -	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 国際公共経済研究	6. 最初と最後の頁 66-75
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 柴田学	4. 巻 46(4)
2. 論文標題 地域福祉実践としての経済活動に関する一考察 : A市B地区と社会福祉法人Cとの協働の事例に着目して	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 ソーシャルワーク研究	6. 最初と最後の頁 331-338
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 橋川健祐	4. 巻 6
2. 論文標題 地域再生のための社会資源開発 : 働きづらさを抱えるひとたちの雇用、就労機会の創出に焦点化して	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 ソーシャルワーク研究	6. 最初と最後の頁 33-41
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 竹内友章	4. 巻 16
2. 論文標題 政策化される地域福祉の推進に関する課題の整理	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 コミュニティ福祉学研究	6. 最初と最後の頁 15-28
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 金子充	4. 巻 163
2. 論文標題 批判的で交差的な社会政策研究の日本的展開に向けた予備的考察	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 明治学院大学社会学・社会福祉学研究	6. 最初と最後の頁 139-150
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

〔学会発表〕 計5件 (うち招待講演 3件 / うち国際学会 0件)

1. 発表者名 川本健太郎
2. 発表標題 社会福祉から、人の「はたらく」を問い直す
3. 学会等名 日本社会福祉学会中国四国ブロック大会 (招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 柴田学
2. 発表標題 地域福祉の推進主体と地域社会変革：社会的連帯経済研究の立場から (公開研究フォーラム第2部：地域福祉の方法論をめぐる今日的な理論課題)
3. 学会等名 日本地域福祉学会2021年度公開研究フォーラム (招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 橋川健祐
2. 発表標題 地域共生社会に対する批判的検討と今後の政策並びに研究課題に関する予備的考察
3. 学会等名 コミュニティ政策学会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 北島健一・岩満賢次・栗本裕見・柴田学
2. 発表標題 農山村地域における地域再生に向けた社会的経済の動向
3. 学会等名 国際公共経済学会第9回春季大会シンポジウム(招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 竹内友章
2. 発表標題 地域福祉における「公的責任」に関する一考察
3. 学会等名 日本地域福祉学会37回大会
4. 発表年 2023年

〔図書〕 計8件

1. 著者名 金子充・田中秀和・中村健・立花直樹編著	4. 発行年 2022年
2. 出版社 ミネルヴァ書房	5. 総ページ数 185
3. 書名 貧困に対する支援	

1. 著者名 古川孝順編著	4. 発行年 2022年
2. 出版社 中央法規出版	5. 総ページ数 300
3. 書名 現代社会福祉分析の再構築	

1. 著者名 Teppei Sekimizu	4. 発行年 2022年
2. 出版社 Lexington books	5. 総ページ数 186
3. 書名 A Sociology of Hikikomori: Experiences of Isolation, Family-Dependency, and Social Policy in Contemporary Japan	

1. 著者名 小野達也・朝倉美江編著	4. 発行年 2022年
2. 出版社 同時代社	5. 総ページ数 250
3. 書名 増進型地域福祉への展開?幸福を生み出す福祉をつくる	

1. 著者名 金子充・田中秀和・中村健・立花直樹編著	4. 発行年 2022年
2. 出版社 ミネルヴァ書房	5. 総ページ数 248
3. 書名 貧困に対する支援	

1. 著者名 関川芳孝編著、竹内友章・柴田学・橋川健祐・金大賢・安立清史	4. 発行年 2020年
2. 出版社 大阪公立大学共同出版会	5. 総ページ数 172
3. 書名 社会福祉法人はどこに向かうのか	

1. 著者名 朝倉美江・柴田学編著	4. 発行年 2023年
2. 出版社 協同ではたらくネットワークあいち	5. 総ページ数 70
3. 書名 つながって働く、生きる、地域をつくる：みんなの幸せを協同で	

1. 著者名 柴田学	4. 発行年 2024年
2. 出版社 関西学院大学出版会	5. 総ページ数 192
3. 書名 地域福祉実践としての経済活動：コミュニティワークの新たなアプローチ	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	川本 健太郎 (Kawamoto kentaro) (80580662)	神戸学院大学・総合リハビリテーション学部・准教授 (34509)	
研究分担者	関水 徹平 (Sekimizu Teppei) (40547634)	明治学院大学・社会学部・准教授 (32683)	
研究分担者	柴田 学 (Shibata Manabu) (20580666)	関西学院大学・人間福祉学部・准教授 (34504)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	直島 克樹 (Naoshima katsuki) (70515832)	川崎医療福祉大学・医療福祉学部・講師 (35309)	
研究分担者	橋川 健祐 (Hashikawa Kensuke) (40632691)	金城学院大学・人間科学部・准教授 (33905)	
研究分担者	竹内 友章 (Takeuchi Tomoaki) (60755825)	関西福祉科学大学・社会福祉学部・講師 (34431)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関